

第1会場

亀田砂丘西の埋没砂丘に位置する道正遺跡・岡崎遺跡は9世紀後半には一体であったと考えられ、物流の管理をうかがわせる遺構・遺物が出土しています。主要な遺物を展示するとともに、多量に出土した煮炊具の中に佐渡型の甕が少なからず存在することに着目し、当時の台所を復元し、佐渡型甕が出土することの意味について考えます。

第2会場

岡崎遺跡では「羽咋」という文字の書かれた墨書土器がまとまって出土しました。羽咋は能登に関連した文字であり、なぜ新潟で出土したのか、その背景を探っていきます。

講演会・展示解説 ※いずれも申込不要

第1会場 新潟市文化財センター

講演会 出土資料から考える越後の古代世界

7/18(土) 13:30~15:00

講師 奈良 佳子(新潟市文化財センター文化財専門員)

会場 新潟市文化財センター1階研修室

展示解説 7/18(土) 15:00~ 30分程度

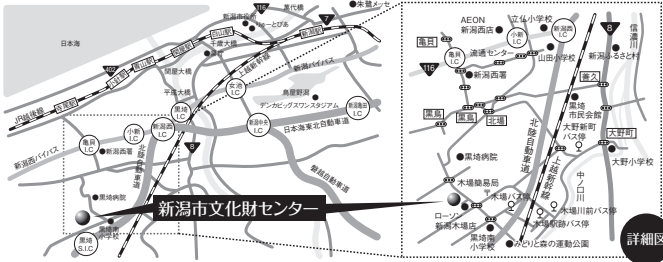
第2会場 史跡古津八幡山

弥生の丘展示館

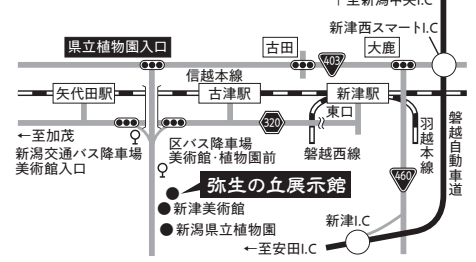
展示解説 5/9(土) 14:00~ 30分程度

交通アクセス

第1会場 新潟市文化財センター
新潟市西区木場2748-1



第2会場 史跡古津八幡山 弥生の丘展示館
新潟市秋葉区蒲ヶ沢264



同時
開催

新潟市文化財センター エントランスにて ばばやしき 馬場屋敷遺跡出土品 県指定記念展示



木筒



指定有形文化財の木製品



青花皿(中国産染付)

馬場屋敷遺跡出土品507点が新潟県指定有形文化財に指定されました

馬場屋敷遺跡は、新潟市南区庄瀬に位置します。1983年に発掘調査が行われ、洪水で埋まった中世の屋敷が発見されました。

鎌倉時代後期(13世紀末~14世紀初頭)の木製品や木筒は、越後平野における地域の有力者の生活の様子とともに、当時の社会や経済の状況を伝える貴重な資料です。また、室町時代後期(15~16世紀)の一括出土した青花皿14点は、いずれも完形品で、県内で類をみない良好な資料であることが評価され、2026年3月31日、出土品のうち507点が新潟県の有形文化財に指定されました。

お問い合わせ 新潟市文化財センター 電話025-378-0480